

国庫補助金（医療提供体制推進事業費補助金）の活用
補助率：国 1/3、県 1/3

（４）類似事業の有無

- ・ 無

３ 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	12,816	医療提供体制推進事業費補助金
合計	12,816	

決定額の考え方

４ 参考事項

（１）後年度の財政負担

- ・ 県の財政負担なし

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
地球温暖化対策に資する病院及び診療所の整備を支援することにより、病院等における地球温暖化対策の取り組みを推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

当事業は、施設整備を行う災害拠点病院に対し国交付金による補助を行うものである。指標設定はそぐわない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
前年度実績なし

（前年度の成果）

前年度実績なし

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	地球温暖化対策に資する病院及び診療所の整備を支援することにより、病院等における地球温暖化対策の取り組みを推進するものであり、事業の必要性が高いと言える。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	これまでに必要な設備の整備を行った災害拠点病院と同様、整備が必要な災害拠点病院においても整備を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	災害時に医療救護の中心となる災害拠点病院に対してのみ必要な設備の整備を行うものであり効率化は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 必要な設備の整備後は、災害拠点病院としての能力の維持向上のため必要な訓練等を行っていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 訓練等の実施により、災害拠点病院としての能力の維持向上が図れるよう、県としても働きかけていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	